

杵築市大田朝田地区

関係団体の連携による基幹会社の設立

地区の概要

所在地：杵築市大田朝田
 構成集落数：8集落
 世帯数：307世帯
 高齢化率：54%

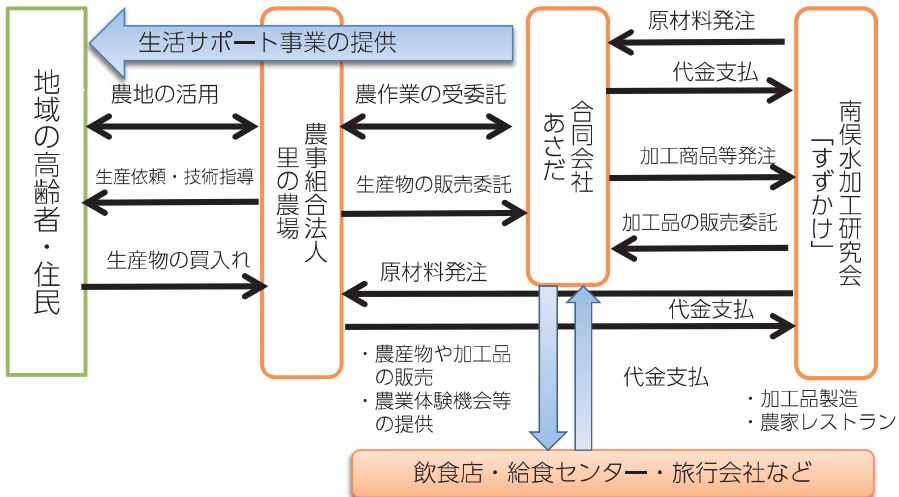
平成29年4月時点

取組のきっかけ

地域内の小学校廃校により、空き家や荒廃園の増加が加速することが懸念され、早急に地域活力を減退させない取組が必要になった。

地域内にある農事組合法人と加工グループとの連携で地域を支える基幹会社を設立し、農産物や加工品の販売や域内の旅行会社と連携した観光客誘致などに取り組むこととした。

地域課題解決の取組イメージ



合同会社 あさだ

活動拠点 杵築市大田大字俣水4687番地 1

施設概要 事務所、加工所

主な取組

- ①農産物、加工品の販売
- ②体験観光の受入れ
- ③耕作放棄地を活用した野菜等の生産
- ④区内他団体の事務作業代行 など



取組の検討・実施

【地域の実態調査と対策案の検討】

別府大学の協力を得て、住民を集めたワークショップを開催した後に、戸別訪問での聴き取り調査、課題の分析・検証により、取組の方針を整理した。



【拠点の整備】

- ・地区内の空き家を交流施設に改修。
- ・廃校施設に開設した加工所に加工備品を整備し、地元農産物の一部商品化もされ、製造・販売の活動が活発化している。



地域の声

- ・食品加工グループの活動が活発になり、生きがいになっている。
- ・地区外との交流が増加することで、将来へ希望がもてるようになる。

今後の方針

- ・交流人口の拡大を図るとともに、住民が生き活きと活動できる場を増やしていく。
- ・活動の自主財源確保に向け、交流拠点を活用した観光客の受入れや農産加工品の開発及び販売に力を入れる。